

カンボジア 2008 年人口センサス確報集計結果の概要

はじめに

カンボジア 2008 年人口センサス^{*1}の確報集計結果が調査実施(2008年3月3日)から約1年半の集計期間を経て、2009年9月7日に公表された。その公表に際し、公表式典がフン・セン首相を始めとして、副首相、閣僚、各国大使など関係者約700名が列席し、カンボジアの首都プノンペンで盛大に開催された。(写真1)

その確報集計結果の中から主要な指標をいくつか取り上げて紹介する。

- *1 この人口センサスに対して、我が国は、国際協力機構(JICA)による技術協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画」等を通じて、高度な技術協力や資金協力を実施している。このプロジェクトは、総務省統計局を中心として、総務省統計研修所、(独)統計センター、(財)日本統計協会、(財)統計情報研究開発センター等が一体となって支援している官民合同型のプロジェクトである。



写真1 2008年人口センサス確報結果公表式典の様子
(中央がフン・セン首相)

1. カンボジア 2008 年人口センサスの概要

この人口センサスについては、すでに本誌2008年7月号の「カンボジア 2008 年人口センサスの実査」及び2009年5月号の「カンボジア 2008 年人口センサス速報結果の概要」に掲載しているので、調査事項や調査方法などの詳細についてはそちらを参照願いたい。

調査の概要は、

- ① 調査時点は、2008年3月3日午前零時現在で実施

- ② 調査方法は、その時点で居た場所で調査する現住主義(de facto)
- ③ 調査対象は、カンボジア国内に居住するすべての人（外国人を含む）であり、一般世帯の人々のほか、ホテル滞在者、病院や刑務所などの施設への入所者、ホームレス、水上生活者なども含む
である。

2. カンボジアの人口及び世帯数

人口をみると 13,395,682 人で、前回（1998 年）の 11,437,656 人から約 196 万人増加している。また、世帯数をみると 2,841,897 世帯で、前回の 2,188,663 世帯から約 65 万世帯増加している。（表 1 参照）

表 1 カンボジアの世帯数、男女別人口、性比—全国（2008 年、1998 年）

	世帯	人口			性比
		総数	男	女	
2008年人口センサス (人)	2,841,897	13,395,682	6,516,054	6,879,628	94.7
1998年人口センサス (人)	2,188,663	11,437,656	5,511,408	5,926,248	93.0
増加数 (世帯・人)	653,234	1,958,026	1,004,646	953,380	—

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P.ix

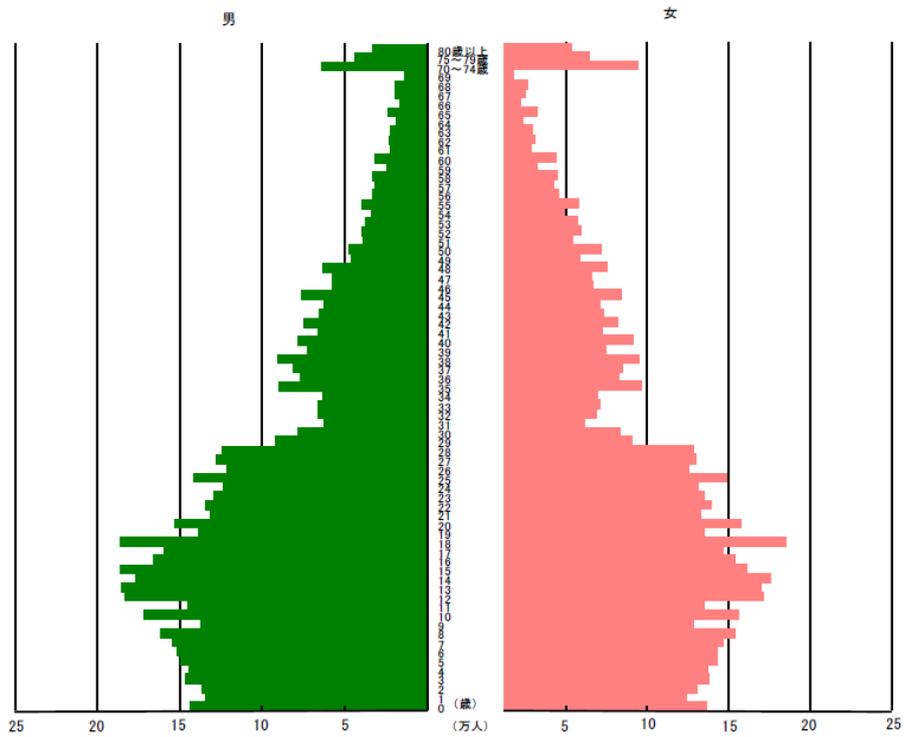
2008 年の人口ピラミッド(図 1-1)をみてみると、まず、30 歳代前半に大きなくぼみがあることが目につく。これは、ポル・ポト政権時代(1975 年～1979 年)に、反体制派を大量虐殺したことが主な原因である。次に、人口ピラミッドの裾野の部分、すなわち、15 歳未満の人口が、年齢が若くなるほど、少なくなっている。これは、カンボジアの人口動態が、「多産多死型」から「少産少死型」へ、徐々に移行しつつあることを示している。このことは、1998 年の人口ピラミッド(図 1-2)と比較すると年齢別人口構成比が推移していることや合計特殊出生率及び乳児死亡率が低下しているということからもうかがえる。（表 2、図 2 参照）

表 2 カンボジアの年齢 4 区分別人口構成比—全国（2008 年、1998 年）

	総数	15歳未満	15--49歳	50--64歳	65歳以上
2008年人口センサス (%)	100.0	33.7	53.4	8.6	4.3
1998年人口センサス (%)	100.0	42.8	46.9	6.8	3.5
差 (ポイント)	—	-9.1	6.5	1.8	0.8

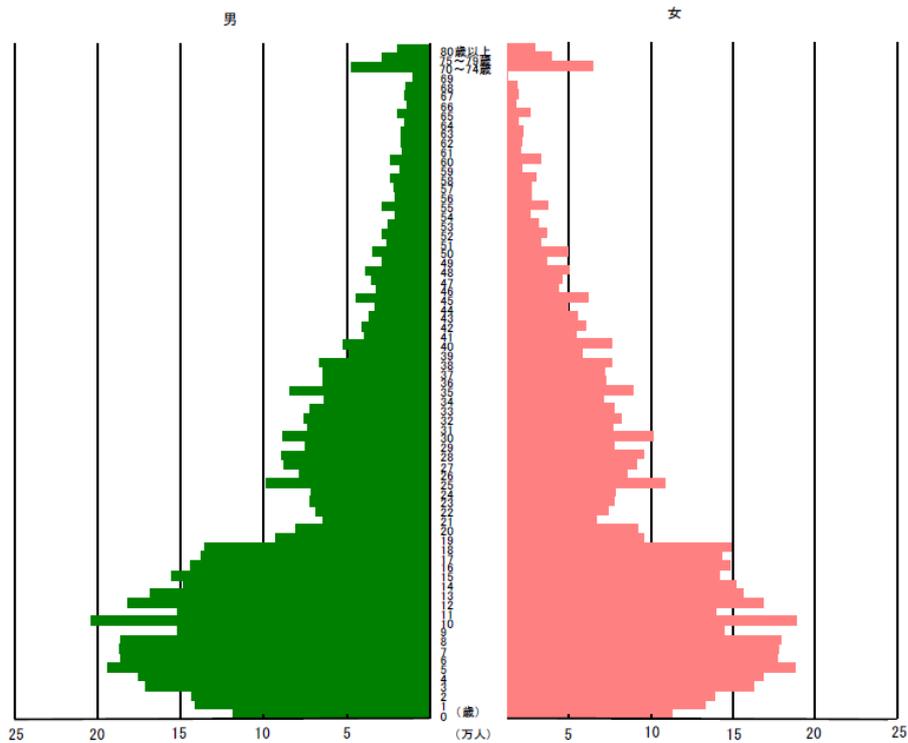
出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P39 Table 3.5

図 1-1 カンボジア 2008 年人口ピラミッド



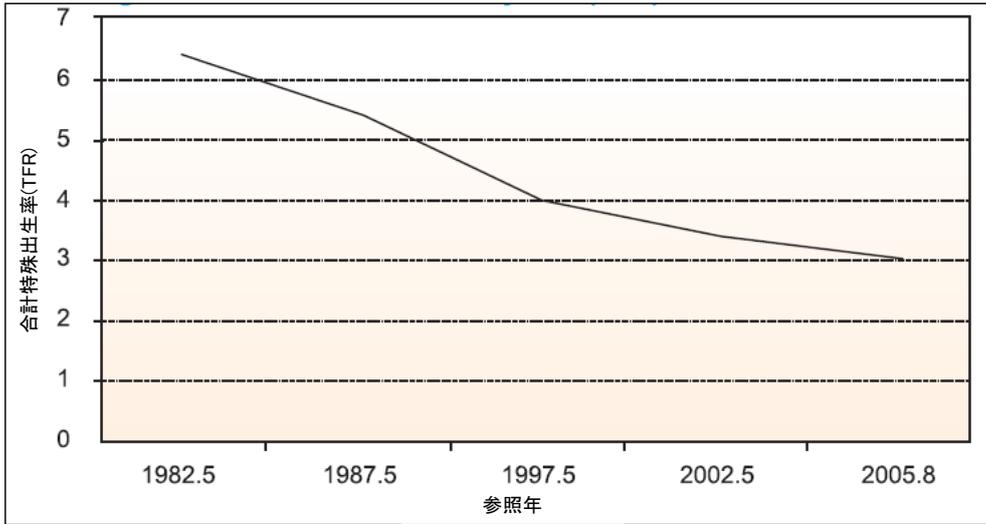
参照： General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P37 Table 3.4

図 1-2 カンボジア 1998 年人口ピラミッド *2



参照： General Population Census of Cambodia 1998 National Report on Final Census Results

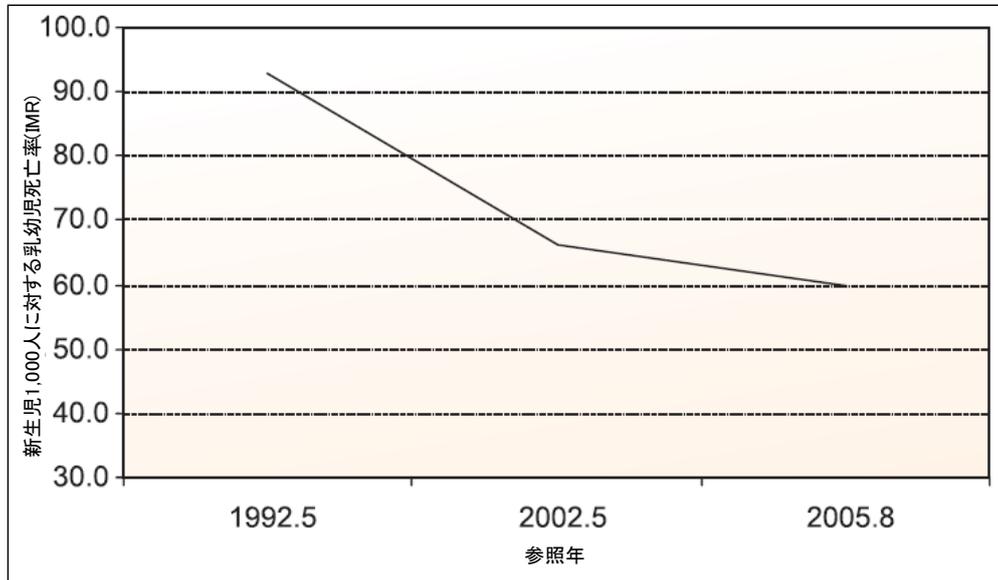
図 2-1 カンボジアの合計特殊出生率(推計値)の推移(1982-2005年)



推計原データ：(1982.5～1997.5) 2000年カンボジア人口・保健調査
(Cambodia Demographic and Health Survey)
(2002.5) 2005年カンボジア人口・保健調査
(2005.8) 2008年カンボジア人口センサス

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P115
Figure7.1

図 2-2 カンボジアの乳児死亡率(推計値)の推移(1992-2005年)



推計原データ：(1992.5～2002.5) 2005年カンボジア人口・保健調査
(Cambodia Demographic and Health Survey)
(2005.8) 2008年カンボジア人口センサス

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P116
Figure7.2

3. カンボジアの就業状態

5歳以上就業者数(産業が不詳の者を除く)をみると、6,934,891人で1998年の4,823,188人から約211万人も増加している。また、産業別構成比を1998年と比較してみると、第1次産業が未だに7割以上を占めているものの、第2次産業及び第3次産業の占める割合もわずかではあるが高くなってきており、カンボジアのゆるやかな産業構造の高度化の様子がうかがえる。(表3参照)

表3 カンボジア男女別5歳以上就業者数、産業3区分別構成比—全国(2008年、1998年)

(2008年人口センサス)	総数	男	女
就業者数 (人)	6,934,891	3,392,400	3,542,491
第1次産業 (%)	72.30	69.37	75.11
第2次産業 (%)	8.54	8.06	9.00
第3次産業 (%)	19.16	22.57	15.89
(1998年人口センサス)			
就業者数 (人)	4,823,188	2,347,929	2,475,259
第1次産業 (%)	77.53	71.65	83.12
第2次産業 (%)	4.24	5.03	3.48
第3次産業 (%)	18.23	23.32	13.40
(差)			
就業者数 (人)	2,111,703	1,044,471	1,067,232
第1次産業 (ポイント)	-5.23	-2.28	-8.01
第2次産業 (ポイント)	4.30	3.03	5.52
第3次産業 (ポイント)	0.93	-0.75	2.49

出典: General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P83 Figure5.12

一方、失業者は118,152人、失業率は1.68%となっており、かなり低い数値となっている。この要因として次のようなことが考えられる。

まず、カンボジアの人口センサスにおける失業者の定義は、「前年1年間のうち6ヶ月以上仕事がなく、その間仕事を探しており、なおかつ、仕事に就ける状態にあった者」となっている。カンボジアの人口センサスの就業状況はUsual方式(日本の国勢調査はCurrent方式)で行われており、ILOが定める国際標準に準拠している。

この定義によると、穀物・野菜の栽培、家畜の飼育、田畑の耕作などは、就業しているとみなされるので、第1次産業就業者が7割を超えることとなり、失業者と判定される人の割合が低いということになる。このことは、都市部の失業率が4.52%であるのに対して、第1次産業就業者が多い郡部^{*2}では1.04%とかなり低くなっていることからわかる。^{*3}

また、都市部においても、実質的には失業者であったとしても、カンボジアで多くみられる路上販売等を少しでも行っていれば、定義上、就業者とみなされてしまうので、失業率が低くなる要因となっている。

* 2 都市部(Urban Area)とは、以下の3つの要件をすべて満たす Commune をいう。一方、郡部(Rural Area)とは、それ以外の Commune である。カンボジアの地方行政区域は、上位から順に、Province、District、Commune、Village となっており、Commune は、上位から3番目である。

- ①総人口が2,000人以上
- ②人口密度が200人/km²以上
- ③男性の農業従事者の割合が50%未満

* 3 General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results,
P64 Table5.4

4. カンボジアの生活基盤の状況

カンボジア人口センサスでは、日本の国勢調査にはない飲料水や電力供給、家庭用電化製品の普及率などの生活基盤の状況も調査項目となっている。その集計結果をみると、都市部では、電力供給は「都市供給電力」が82.5%（1998年は56.9%）と8割を超えているものの、飲料水は「水道水」が56.8%（同26.8%）と5割程度、調理用燃料は「LPGガス」と「電力」を合わせても38.8%（同8.8%）と4割にも達しておらず、飲料水と調理用燃料については、未だ整備が不十分であることがわかる。しかしながら、1998年と比較すると、それぞれ30ポイント増と高い伸びを示しており、生活基盤はかなり改善されてきていることがわかる。

一方、郡部では、電力供給は「都市供給電力」が9.3%（1998年は3.6%）と1割程度、飲料水は「水道水」がわずか4.4%（同1.5%）、また、調理用燃料は「LPGガス」と「電力」を合わせてわずか1.6%（0.3%）となっており、いずれも整備が不十分であり、特に、調理用燃料の整備が大幅に立ち遅れていることがわかる。しかしながら、1998年と比較すると、電力供給は、「都市供給電力」に加え、「発電機」、「バッテリー」の活用により40ポイント以上の増となっており、大幅に改善されつつあることがわかる。また、飲料水についても、「水道水」に「井戸（ポンプ式）」を加えると約17ポイント増と比較的衛生的な飲料水の供給源が高い伸びを示している。

前述の人口・世帯、就業状態の全国結果だけをみると、カンボジアの順調な発展をうかがわせる指標ばかりであったが、一方で、都市部・郡部別の生活基盤の結果をみると、都市部と郡部との間に、大きな格差が生じていることがわかる。

表 4-1 カンボジアの飲料水供給源別構成比—全国、都市部、郡部(1998年、2008年)

(単位：%)

地域・調査年 供給源	全国		都市部		郡部	
	2008年	1998年	2008年	1998年	2008年	1998年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
水道水	13.8	5.8	56.8	26.8	4.4	1.5
井戸(ポンプ式)	26.8	15.0	14.7	12.5	29.5	15.5
井戸(外気遮断有)	5.2	-	3.8	-	5.5	-
井戸(外気遮断無)	20.7	40.3	4.5	16.7	24.2	45.1
雨水	1.0	-	0.5	-	1.1	-
河川・池	23.1	28.2	6.2	13.3	26.8	31.2
購入	8.2	8.3	13.0	29.2	7.1	4.1
その他	1.3	2.5	0.5	1.5	1.4	2.7

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P145 Table9.12

*1998年人口センサスにおいて「井戸」は、外気遮断の有無で分割していない。(「井戸(外気遮断無)」に含む)

*1998年人口センサスにおいて「雨水」という調査項目はなく、「河川、湖・池、雨水」という1項目であった

表 4-2 カンボジアの電力供給源別構成比—全国、都市部、郡部(1998年、2008年)

(単位：%)

地域・調査年 供給源	全国		都市部		郡部	
	2008年	1998年	2008年	1998年	2008年	1998年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
都市供給電力	22.5	12.6	82.5	56.9	9.3	3.6
発電機	1.7	1.0	1.9	2.1	1.7	0.8
都市供給+発電機	2.2	1.6	2.7	3.9	2.1	1.1
灯油	38.6	79.9	7.4	33.5	45.5	89.3
ロウソク	0.4	-	0.4	-	0.4	-
バッテリー	34.1	3.6	5.0	3.0	40.4	3.7
その他	0.5	1.5	0.2	0.7	0.6	1.6

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P146 Table9.14

*1998年人口センサスにおいて「ロウソク」という調査項目はなく、「その他」としていた

表 4-3 カンボジアの調理用燃料別構成比—全国、都市部、郡部(1998年、2008年)

(単位：%)

地域・調査年 燃料	全国		都市部		郡部	
	2008年	1998年	2008年	1998年	2008年	1998年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
薪	83.6	90.0	34.7	62.9	94.3	95.6
木炭	7.5	5.3	25.6	24.6	3.5	1.3
灯油	0.4	1.8	0.4	2.8	0.3	1.6
LPGガス	7.9	1.7	37.3	8.8	1.5	0.3
電力	0.4	-	1.5	-	0.1	-
なし	0.2	-	0.4	-	0.2	-
その他	0.1	1.1	0.1	0.9	0.1	1.2

出典：General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P148 Table9.17

*1998年人口センサスにおいて「電力」、「なし」という調査項目はなく、「その他」としていた

家庭用電化製品の世帯普及率は、テレビが 58.4%と 6 割程度となっている。電話をみると、携帯電話は 37.4%と 4 割近くまで達しているのに対して、固定電話は僅か 1.1%にとどまっている。これは、電話線の整備が不十分であることによるものである。また、パソコンは僅か 3.7%となっており、このことから、たとえ人口センサスの結果を電子媒体で提供したとしても、それを閲覧する機器であるパソコン自体を所有する人が少なく、十分に集計結果を閲覧・利用できる環境にないことがわかる。

また、自動車の普及率は、僅か 4.8%である。一方、バイクは 44.2%、自転車は 63.8%と、バイク、自転車が今まだ主流であることがわかる。

表 4-4 カンボジアの家庭用電化製品や自動車等の普及率

— 全国、都市部、郡部 (2008 年)

(単位: %)

地域 \ 設備	ラジオ	テレビ	固定電話	携帯電話	パソコン	自転車
全国	40.8	58.4	1.1	37.4	3.7	63.8
都市部	50.4	80.8	3.4	76.2	15.8	50.5
郡部	38.7	53.5	0.6	28.8	1.0	66.7

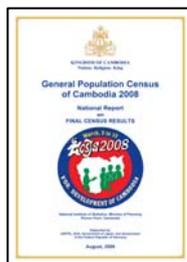
地域 \ 設備	バイク	自動車	ボート	大型 トラクター	小型 トラクター
全国	44.2	4.8	5.3	0.4	3.2
都市部	67.2	16.2	1.8	0.2	0.9
郡部	39.1	2.3	6.1	0.4	3.8

出典: General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results, P150 Table9.19

おわりに

今回、紹介した集計結果は、ごく一部ではあるものの、カンボジアの経済成長の状況や内在する地域格差の状況を垣間見ることができる。また筆者自身、集計結果からこのようなカンボジアの現状を把握できたことから統計の有用性や重要性を再認識することができた。

本プロジェクトを通じて、統計の中でも最も重要な人口センサスに、微力ながらも協力できたことを光榮に思うとともに、この人口センサスの結果が、今後、カンボジアの政策に大いに利用され、国家の発展のみならず、人々の生活水準も、ますます改善されることを心から願うものである。



General Population Census of Cambodia 2008 National Report on Final Census Results
表紙